国指定史跡会下山遺跡　史跡指定15周年記念フォーラム

会下山遺跡からたどる
あしや山の手暮らし、２千年

芦屋市三条町にある国指定史跡会下山遺跡は、約2千年前に山の上で営まれた集落跡です。
あしやの人々は今日に至るまで、見晴らしの良い「山の手」で暮らしています。
あしやの山の手の魅力とは何でしょう？会下山遺跡を主軸に、歴史や魅力を紐解いてみましょう。

講演１：弥生時代のあしやの山の手暮らし
－会下山遺跡の価値と魅力、そして未来－
禰宜田（ねぎた）　佳男　氏（大阪府立弥生文化博物館館長）

講演２：芦屋博士が語る近代あしやの山の手暮らし
－世界遺産マチュピチュと六麓荘の共通点－
三宅　正弘　氏（芦屋博士・武庫川女子大学教授）

報　告：あしや山の手の歴史と文化財
森山　由香里（芦屋市国際文化推進課学芸員）

フォーラム：山とあしやの暮らし　－過去・現在・未来－
モデレーター：三宅　正弘　氏
パネリスト　：禰宜田　佳男　氏　・　森山　由香里

参加費
無　料

申込み
不　要

定　員
140名
（先着順）

令和8年12月13日(日)14時～16時30分(開場13時30分)
芦屋市民センター公民館　219音楽室(芦屋市業平町8－24)
問い合わせ:芦屋市国際文化推進課(0797-38-2115)